

がんばろう!日本
We are all together.

SUZUKA 2&4 RACE 5/14 予選 SAT.・15 決勝 SUN.

[2輪ロードレース JSB1000] [4輪 フォーミュラ・ニッポン] 国内最高峰レースの競演!!

毎年、本格的なモータースポーツシーズン突入を告げる鈴鹿2&4レースは、鈴鹿サーキットを舞台に2輪、4輪の国内トップクラスのレースが同時に開催されるビッグイベントであると同時に、長い歴史を誇る伝統のイベントでもあります。モータースポーツファンのみならず、すべての人を魅了するフォーミュラ・ニッポンの驚異的なスピードと、JSB1000の息詰まるデッドヒートを、是非お楽しみください。



JSB1000(※写真はイメージです)



フォーミュラ・ニッポン(※写真はイメージです)

フォーミュラ・ニッポン

一昨年F1フル参戦した兄一貴 VS 昨年イギリスF3を戦った弟大祐。 父悟氏のDNAを受け継いだ中嶋兄弟がフォーミュラ・ニッポン参戦!!



中嶋悟氏

「中嶋って名前が3人並ぶなんてちょっと前なら考えられなかった。でもそれでフォーミュラ・ニッポンが盛り上がりれば、最高だよ」と目を細めたのは中嶋悟氏。NAKAJIMA RACINGの監督だ。今年長男の中嶋一貴がPETRONAS TEAM TOM'Sから、そして弟の中嶋大祐がNAKAJIMA RACINGから参戦することになったのだ。

兄一貴は初めてのフォーミュラ・ニッポンとなるが、一昨年F1にフル参戦した実績があり、ルーキー扱いはできない。事実3月に行われた合同テストで、初めてのテスト参加にもかかわらず驚異的なタイムを記録して、5番手に食い込んだのだ。周囲は開幕戦からの表彰台を期待するが、その実力、実績から言っても優勝を狙えるはず。一貴本人も優勝を胸に臨んでくるのは間違いないだろう。

一方イギリスF3参戦で2年間にわたり好成績を残した弟大祐。フォーミュラ・ニッポンの大パワーは初めての体験となるが、チームの監督は父悟氏。そしてチームメイトはフォーミュラ・ニッポン最速男と言われる小暮卓史。この環境の中なら、一気の上位進出も夢ではないはず。しかも鈴鹿はSRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ)で誰よりも走り込んだコース。父のアドバイス、小暮の走り、そして何より最も身近な兄の活躍が大祐を後押しするはず。NAKAJIMAのDNAが目覚めれば、優勝をかけた兄弟対決もありそうだ。



中嶋一貴



中嶋大祐

今年もフォーミュラ・ニッポンは鈴鹿から熱戦の幕が開く！ 小暮卓史を筆頭にJ・P・デ・オリベイラ、A・ロツテラーが開幕戦勝利を狙う



小暮卓史

今年もフォーミュラ・ニッポンは、鈴鹿サーキットで幕を開ける。昨年最後までチャンピオンを争い合ったIMPULのJ・P・デ・オリベイラ、TOM'SのA・ロツテラー、NAKAJIMAの小暮卓史はいずれも不動の体制で挑んでくる。

小暮は3月に鈴鹿サーキットで行われた合同テストでトップタイムを記録しており、鈴鹿を得意とすることからも、優勝候補筆頭と言っていいただろう。だが国内最高峰フォーミュラ・ニッポンは実力派ドライバーが

ひしめいている。オリベイラ、ロツテラーはもちろん、昨年優勝を経験した平手晃平(IMPUL)、大嶋和也(LeMans)も当然「開幕戦制覇」を狙ってくるはず。他にも中嶋一貴(TOM'S)、伊沢拓也、塚越広大(共にDANDELION)、山本尚貴(MUGEN)、石浦宏明(KYGNUS SUNOCO)など優勝候補は多く、予選から1000分の1秒を争う大接戦になるのは間違いないだろう。



J・P・デ・オリベイラ



A・ロツテラー

JSB1000

昨年はトップ3が0.141秒差内の僅差決着！！ 加賀山、伊藤の参戦で今年はさらなる大激戦必至！！



昨年の鈴鹿サーキットでのレースで全勝し、チャンピオンとなった秋吉耕佑

当初、MFJ全日本ロードレース第2戦として予定されていた今年の鈴鹿2&4レースだが、東日本大震災の影響により、開催が約1ヵ月順延され、さらに、今年の第1戦に予定されていた筑波大会が中止となったことから、今大会が2011年MFJロードレースの開幕戦として行われる。

例年通り、4輪のトップカテゴリーとの併催であり、2輪ロードレースは、国内4メーカーをはじめ、ヨーロッパメーカーのスーパースポーツモデルが登場するトップカテゴリーJSB1000クラスのみで開催となる。

昨年、この鈴鹿サーキットで、JSB1000クラスは3レースが行われたが、『韋駄天』秋吉耕佑が全勝したことは記憶に新しい。とくに、2レース制で行われた最終戦MFJ-GPのレース2での優勝は、自身にとって初めてのチャンピオン獲得となる勝利でもあった。

この秋吉が、現在の鈴鹿サーキットでのコースレコード保持者でもあるのだが、そのタイム2分06秒488。これは2009年4月に記録されたものだが、まずはこのタイムが今大会の基準となる。

ストップ・ザ・秋吉の最右翼は、昨年ランキング2位の柳川明、同3位の高橋巧、同4位の中須賀克行、そして今年からMFJ全日本ロードレースに復帰する加賀山就臣らだ。さらに、昨年限りでJSB1000を卒業した『絶対王者』伊藤真一の緊急参戦が決定。昨年の鈴鹿2&4レースでは、秋吉、高橋、中須賀の3人が0.141秒差の中でチェッカーという大激戦となったが、今年はさらに激しい戦いになることは間違いない。

伊藤真一が緊急参戦!!

昨年限りでJSB1000を卒業した伊藤真一が、今大会への緊急参戦が決定した。チームはF.C.C. TSR Hondaで、マシンはHonda CBR1000RR。宮城県在住の伊藤は、東日本大震災の被災者でもあるが、今大会への参戦は、被災地へエールを贈る一環でもある。

伊藤真一選手のコメント:

「昨シーズンで全日本JSB1000からは卒業しましたが、3月の震災で僕自身も被災者になり、その僕がレースを走ることによって、被災者のみなさんを少しでも勇気づけることができればと思い、今回の鈴鹿2&4レースに出場することを決めました。

ただ、震災後の一カ月は本当に慌ただしくて、とてもトレーニングができる状態ではありませんでした。正直なところ、被災地をまわって、いろいろと考えさせられることがたくさんありました。そしてモータースポーツに目を向けてみると、他のスポーツでもそうですが、少し元気がなくなってきた感じがします。僕が育ったと言うか、僕を育ててくれたモータースポーツを少しでも元気にしたい。そんな気持ちもあって今回の参戦に踏み切りました。

鈴鹿サーキットは知り尽くしているサーキットだし、マシンに関しても、基本ベースは昨年型と同じだと思うので、僕自身のフィジカル面も含めて、心配は何もありません。

どこまでできるかは未知数ですが、出場するからには勝ちに行きます。昨年の最終戦では、秋吉選手にやられていたし、中須賀選手も絶好調と聞いています。このふたりを含め、トップライダーたちと良い勝負ができるように、しっかりと調整して臨みます」



緊急参戦を決めた伊藤真一

加賀山就臣がMFJ全日本ロードレースに復帰

2003年から活動を海外に移し、イギリススーパーバイクやスーパーバイク世界選手権で活躍した『スーパーファイター』加賀山就臣が、今年から全日本ロードレースに復帰する。クラスは全日本トップカテゴリーのJSB1000で、マシンは乗り馴れたSuzuki GSX-R1000。チームはTeam KAGAYAMAで、その名が示す通りプライベートながら、往年の名ライダー辻本聡が監督を務め、ヨシムラがバックアップするという強力布陣だ。



加賀山就臣

すべてが新しいKawasaki Ninja ZX-10R

昨年、JSB1000クラスでランキング2位となったTEAM GREENの柳川明。今年もJSB1000に継続参戦するが、そのマシンKawasaki Ninja ZX-10Rはフルモデルチェンジを受けてポテンシャルアップしており、頂点を目指す柳川にとって大きな援軍となった。これまで、鈴鹿サーキットとの相性に悩んでいた柳川だが、今大会で結果を導き出せれば、いよいよタイトル獲りが現実味を帯びてくることは間違いない。



Kawasaki Ninja ZX-10R

高橋巧、中須賀克行とも準備万端



初心に帰って今季に挑む
高橋巧

昨年、トップチームMuSASHi RTハルクプロに移籍し、チャンピオン獲りを宣言してシーズンに挑んだ高橋巧だが、シリーズ中盤以降で失速してしまい、ランキング3位に留まった。この苦い経験を胸に、このオフには“キング”ケニー・ロバーツを訪ねて渡米。ケニーの下でトレーニングを積んだ。実は高橋巧は、過去にもケニーを訪ねた経験があり、今回は“初心に帰る”ことが最大の目的で、心機一転して新しいシーズンに挑む。

一方、昨年は、大先輩の平忠彦、藤原儀彦が持つ全日本ロードレース最高峰クラス3連覇に挑んだ中須賀克行だが、開幕前のテストで負ったケガの影響もあり、ランキングは4位。しかし、このオフ

には、YamahaのMotoGPマシンYZR-M1の開発ライダーを務めることになり、この相乗効果で、全日本ロードレースで使用する愛車YZF-R1でも好タイムを連発。今年は、さらに強い中須賀の姿が見られるはずだ。



MotoGPマシンYZR-M1の開発ライダー
に加わった中須賀克行

エヴァンゲリオンが2台体制で参戦

昨年の鈴鹿8耐で注目を集めたエヴァンゲリオン・レーシングチームが、今年は『エヴァRT初号機トリックスターFRTR』として、出口修のライディングで全日本ロードレースJSB1000にフル参戦する。そして今大会には、エヴァRT弐号機トリックスターFRTRでベテラン芹沢太麻樹がエントリー。マシンはKawasaki Ninja ZX-10R。2台体制で鈴鹿2&4レースで暴れまくる!!



エヴァRT弐号機トリックスター
FRTR

昨年のST600チャンピオン山口辰也がエントリー

昨年の全日本ロードレースST600クラスでチャンピオンを獲得した山口辰也が、今大会への出場が決定した。マシンはDucati 1098Rで、7月31日(日)に決勝レースを迎える“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース参戦を目指してのもの。なお、山口は、今年も全日本ロードレースST600およびJ-GP2クラスにフル参戦する。



Ducatiをテストする山口辰也

サポートレース

全日本フォーミュラ3選手権

少数精鋭のCクラスに蒲生直弥、R・ブラッドレー参戦！Nクラスはウィナー林立必死



F3(※写真はイメージです)

現在、全日本F3(フォーミュラ3)はCクラスとNクラスが混走して争われており、総合優勝が競われるCクラスはまさに少数精鋭の戦いとなる。常勝チームのトムスから出場するのは、昨年のNクラスチャンピオン蒲生直弥と、リチャード・ブラッドレー。ブラッドレーはフォーミュラBMWパシフィックの王者。F3経験はないが、その実績から考えてもチャンピオン争いに絡んでくるのは必至だ。その他山内英輝、安田裕信らの実力派が参戦。まさに誰が勝ってもおかしくない状況だ。

一世代前のエンジンを使用し、コスト削減に配慮しながらも、ハイレベルな戦いを見せてくれるのがNクラス。今年負けられない戦いに

なるのは千代勝正と佐々木大樹、三浦和樹、ギャリー・トンプソンら継続参戦の面々。彼らに昨年のFCJチャンピオン中山雄一、さらにはF4西日本チャンピオンの西本直樹がルーキーとして挑んでくる。彼らの熱きバトルも見逃すことはできない。



蒲生直弥

フォーミュラチャレンジ・ジャパン

実力伯仲の精鋭たちが難コース鈴鹿に挑む！シーズン中最も激しいバトルとなるのは確実だ



FCJ(※写真はイメージです)

「世界で活躍するドライバーの発掘と育成」を目的にスタートしたのがFCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)。マシンもエンジン、タイヤもワンメイクで、純粋なドライビング能力によって勝敗が決まる。それだけに毎レース予選から接戦が続けられ何人ものウィナーが誕生することになる。事実今年も第1戦は勝田貴元、第2戦はSRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール フォーミュラ)出身の平峰一貴がともに初優勝を記録。早くも混戦模様を見せている。さらに昨年SRS-Fでスカラシップを獲得した清原章太が第2戦で4位に食い込むなど、今年はルーキーたちも侮れない速さを見せており、これが混戦に拍車をかけそうな勢いだ。テクニカルコース鈴鹿は実力を試されるレースでもある。シーズンの中最も激しい戦いが展開されるのは間違いないだろう。



第2戦で初優勝を飾ったSRS-F出身の平峰一貴

5月11日(水)・12日(木) フォーミュラ・ニッポン合同テスト走行開催！

今シーズンは誰が速いのか？ ルーキーの真の実力は！ テスト走行で真実が明らかになる！

鈴鹿開幕戦直前にフォーミュラ・ニッポン公式合同テストが行われる。本来なら万全の体制で開幕を迎えるはずが、3月に行われる予定だったテスト走行が東日本大震災の影響で急きょ中止になり、満足な走行もできていない状況。特に中嶋大祐を始めとしたルーキーたちは、今回自身の本当の力を見せる走行。加えて兄の中嶋一貴もまだ初めてのフォーミュラ・ニッポンマシンを乗りこなせていない。F1でつちかったテクニックを初披露するのがこのテスト走行と言うわけだ。14日土曜日の公式予選を控えての合同テストだけに、本番さながら、気合の入った熱い走りが見られることになる。

合同テストは、ゆうえんち入園料でご入場いただけます

料金(ゆうえんち入園料)

大人(中学生以上)	小学生	3歳~未就学児
1,600円	800円	600円

開催概要

■大会名称: 鈴鹿2&4レース

2011年 全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第1戦 鈴鹿サーキット
2011 MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦

■併催レース: 2011年 アチーブメント全日本フォーミュラ3選手権 第1戦・第2戦 2011年 フォーミュラチャレンジ・ジャパン 第3戦&第4戦

■主催: 財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会(MFJ) / グループ オブ スピードスポーツ(GSS) / 鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット

■公認: 国際自動車連盟(FIA) / 社団法人 日本自動車連盟(JAF) / 国際モーターサイクリズム連盟(FIM)
■認定: 日本レースプロモーション(JRP) / 日本フォーミュラスリー協会(NFIII A)

■後援: 文部科学省 / 観光庁 / 三重県 / 鈴鹿市 / 鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会 / 鈴鹿商工会議所 / 東京中日スポーツ / 中日スポーツ / 中日新聞社

鈴鹿2 & 4レースはイベント盛りだくさん！

■メインストレート開放

フォーミュラ・ニッポン決勝レース終了後メインストレートを開放！
みんなで感動の表彰式を体感しよう！

◆日時:5月15日(日)フォーミュラ・ニッポン決勝レース終了後

◆場所:メインストレート

※レース終了後、準備が整ってからメインストレートにご入場いただけます。
現地係員の指示に従ってご入場ください。



過去のメインストレート開放の様子

■鈴鹿サーキットクイーン交代式

レースを彩る鈴鹿サーキットクイーン。

2010年度の卒業メンバーと、新たに活躍するメンバーをご紹介します。

◆日時:5月15日(日)ピットウォーク中

◆場所:ポディウム



※写真はイメージです

■応援メッセージ大募集

お寄せいただいたメッセージの一部をなんと！サーキットビジョンなどご紹介！皆さまからの熱い熱いメッセージをお待ちしております！

◆応募方法:鈴鹿サーキットホームページよりご応募ください。

クイズとチェックシートでレースを思う存分楽しもう！

事前にホームページからダウンロード、または当日現地で配布されるクイズ応募用紙と予選チェックシートを入手しよう！

※クイズの応募場所・時間等の詳細は鈴鹿サーキットホームページまたはクイズ応募用紙をご覧ください

■2 & 4ポールポジション予想クイズ & 優勝予想クイズ

全日本ロードレースJSB1000および、フォーミュラ・ニッポン決勝レースのポールポジションと優勝者を予想して豪華プレゼントを当てよう！

■予選チェックシート

全日本ロードレースJSBクラス、フォーミュラ・ニッポンのノックダウン方式の予選がわかりやすくなるチェックシートを片手に楽しく観戦しよう！



優勝予想クイズ応募用紙

===== ファミリーで楽しもう！お子様向けイベントも盛りだくさん！！ =====

GPスクエアにはコチラレーシングブースが登場！大好評の2&4キッズピットウォークも開催されるなど、鈴鹿2&4レースはお子様やファミリー向けのイベントも盛りだくさん。レースもイベントも、ファミリーで一緒に楽しもう！

■コチラレーシング in 鈴鹿2&4レース

コチラレーシングファンクラブの入会受付やお子様楽しめるイベントを開催！
FE810(4輪レーシングマシン)、ハングオンバイクの体験搭乗もできる！

- ◆日程:5月14日(土)・15日(日)
- ◆場所:GPスクエア内コチラレーシングブース



※写真はイメージです

■コチラレーシングプレゼンツ

2&4レース フォーミュラ・ニッポン第1戦 グリッドキッズ大募集！

コチラちゃんファンクラブ、コチラレーシングファンクラブ会員の方限定で、2&4レースのグリッドに立てるチャンス！

- ◆日時:5月15日(日) フォーミュラニッポンスタート進行時 ※受付は14日(土)
- ◆場所:ホームストレート上ダミーグリッド
- ◆対象:コチラちゃんファンクラブまたはコチラレーシングファンクラブ会員のお子さまとその保護者様 (受付時に会員証をご提示ください)
- ◆受付・抽選:5月14日(土)にGPスクエア内「コチラレーシングブース」にて受付を行います。厳正な抽選のうえ、16組(32名様)の当選発表を「コチラレーシングブース」にて日曜日朝に実施いたします。

※チーム・選手の希望は第2希望まで承りますが、同じチーム・選手に多数のご応募があった場合、ご希望に添えない場合がございますので予めご了承ください。

※1組とは、お子さま1名様とご同伴の1名様の合計2名様となります。

※いかなる場合でも当選をお約束することはできません。



過去のグリッドキッズの様子

■2&4キッズピットウォーク

鈴鹿2&4レースではすっかりお馴染みとなったキッズピットウォーク。家族でレーシングドライバーやライダーに会いに行こう！土曜日の夕方に開催！

- ◆日時:5月14日(土) 走行スケジュール終了後(16:45頃開始予定)
- ◆場所:ピットロード
- ◆対象:中学生以下のお子様とその保護者様
- ◆料金:無料

※入場方法などは、当日Gプレセプション、GPスクエア、ピットウォークチケットボックス前にて告知いたします。



過去のキッズピットウォークの様子

==== プレミアムエリアパスをご購入のお客様向けのイベントも盛りだくさん！ ====

プレミアムエリア(VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジ、ホスピタリティテラス)パスをお持ちのお客様向けの「プレミアム」なイベントを多数開催いたします。

■「国際レーシングコース バスクルージング」開催！

アツい戦いが繰り広げられる鈴鹿サーキット国際レーシングコースをバスに乗って1周！

◆日時:5月15日(日) (1)ピットウォーク終了後 (2)レーススケジュール終了後

◆場所:国際レーシングコース

※VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスをお持ちの皆さまがご参加いただけます。



※写真はイメージです

■決勝レーススタート前の「グリッドウォーク」にご招待！

VIPスイート・プレミアムパスをお持ちの方限定の特典！

5月15日(日)フォーミュラ・ニッポンおよびJSB1000決勝レース前のグリッドウォークにご参加いただけます。

◆日時:フォーミュラ・ニッポン決勝レーススタート前。JSB1000決勝レーススタート前

◆場所:ホームストレート

※VIPスイート・プレミアムパスをお持ちの皆さまがご参加いただけます。

■サービスロードツアー

どの観客席よりも近く！レーサー目線！を体験できるツアー

◆日時:5月15日(日) (1)FCJ Rd.4決勝レース時 (2)全日本F3 Rd.2決勝レース時

◆場所:サービスロード

※VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスをお持ちの方から抽選でご参加いただけます。



サービスロードツアー

■「激感スタートエリア」に抽選でご招待！

JSB1000の迫力あるスタートを、ストレート後方からご覧いただける特別な場所にご招待！

◆日時:5月15日(日)JSB1000スタート時

◆場所:ホームストレートサイド

※VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスをお持ちの方から抽選でご参加いただけます。



激感スタートエリア

■「チェッカーマーシャル搭乗体験」に抽選でご招待！

フォーミュラ・ニッポン決勝レース終了後、マーシャルカーに乗車しコースを1周走行します。

◆日時:5月15日(日)フォーミュラ・ニッポン決勝レース終了時

◆場所:国際レーシングコース

※ホスピタリティラウンジパスをお持ちの方から抽選でご参加いただけます。

■2&4ダイニング・ラウンジ

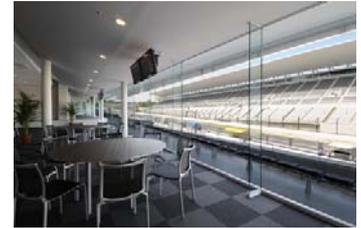
VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスをご購入のお客様限定の休憩ラウンジ

フリードリンクをご利用いただけ、お食事販売も行います。

◆日時:5月14日(土)・15日(日)ゲートオープン～17:00

◆場所:ホスピタリティラウンジNo.5

※ご入場にはVIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスが必要です。



ホスピタリティラウンジ

■2&4イベント・ラウンジ

VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジ、ファミリーラウンジパスをご購入のお客様限定のイベント・ラウンジ。レースクイーンフォトセッション、全日本ロードレースライダートークショー、フォーミュラ・ニッポンドライバートークショーなど、ここでしか体験できないイベントを多数開催いたします。

◆日時:5月14日(土)・15日(日)

・レースクイーンフォトセッション:	14日(土)15:00～15:20	／	15日(日)9:20～9:50
・全日本ロードレースライダートークショー:	15日(日)10:10～10:30		
・フォーミュラ・ニッポンドライバートークショー:	14日(土)15:40～16:00	／	15日(日)11:40～12:00

◆場所:ホスピタリティラウンジNo.4

※ご入場にはVIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスが必要です。



レースクイーンフォトセッション

■“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース開催概要発表会

2011年の8耐が明らかに！

ピットビル2階ホスピタリティラウンジで2011年“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8耐の開催概要発表会を開催！注目選手も登場いたします！

◆日時:5月14日(土)12:20～13:00

◆場所:ホスピタリティラウンジNo.11

※ご入場にはVIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジ、ホスピタリティテラスパスが必要です。



2010年の8耐開催概要発表会の様子

■鈴鹿モータースポーツギャラリー特別展

「可夢偉伝」～尼崎のやんちゃ少年がF1ドライバーになるまで

ピットビル2階ホスピタリティラウンジNo.2・No.3を会場に開催されている「鈴鹿モータースポーツギャラリー」。その中のコーナー「可夢偉伝」ではF1ドライバー小林可夢偉選手の魅力を紹介し、写真パネルやゆかりの品の展示を行います。

(※鈴鹿モータースポーツギャラリー「ECOの車とミニカーたち」も同時開催)

◆日程:3月1日(火)～8月16日(火)

◆場所:ホスピタリティラウンジNo.2・No.3

※ご入場にはVIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジパスが必要です。



小林可夢偉

VIPスイート・プレミアム、ホスピタリティラウンジ、ホスピタリティテラスパスの詳細はチケットのページをご覧ください

チケット好評発売中！

観戦席はグランドスタンド(V2・V1)を含め、全席自由席！
観戦券はお求めやすい3,900円！(大人・ゆうえんちモトピアパスポート付)
さらに！グループチケットで、仲間と一緒にお得に観戦できる！

■前売券

観戦券(2日間有効)※5月13日(金)も入場可	
大人	中・高校生
ゆうえんちモトピアパスポート1日付	入場のみ
3,900円	1,600円

グループチケット(2日間有効)※5月13日(金)も入場可			
ゆうえんちモトピアパスポート1日付			
2名	3名	4名	5名
7,400円	10,500円	13,200円	15,600円

■当日券

観戦券		
	大人	中・高校生
5月14日(土)予選日	ゆうえんち入園料(1,600円)	
5月15日(日)決勝日	4,200円	1,600円

※3歳～高校生以下の方の当日券はゆうえんち入園料となります。中高生／1,600円・小学生／800円・3歳～未就学児／600円
 ※大人観戦券にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モトピアパスポート」となります。

■パドックパス(2日間有効・別途観戦券必要)

パドックでドライバー、キャンペーンギャルに身近に会えたり、ピット裏でのチームの作業を見たり、コースサイドにある激感エリアで迫力あるレースを観戦できたり、思う存分にレースをお楽しみいただけます。

パドックパス ＜大人(中学生以上)＞	パドックパスJr ＜子ども(3歳～小学生)＞
6,000円	1,500円

★ご入場エリア

- ・パドック
- ・ピットウオーク
- ・激感エリア

★特典

- 特製カード型パドックパス枚数限定販売！
 鈴鹿サーキットロゴ入りストラップがセットになった特製プラスチックパドックパスを限定販売します。
 ・鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。
 ・パドックパスにはシリアルナンバーがついています。
 ※前売りにてご購入の方には、必ず特製カード型パドックパスをお渡します。
 ※パドックパスJrは特製カード型パドックパスではありません。



※写真は激感エリアのイメージです

※パドックパスのご購入には観戦券が別途必要です。
 ※ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階)およびホスピタリティテラス(ピットビル3階)にはご入場いただけません。
 ※前売りパドックパス完売の場合、当日パドックパスは販売いたしません。

■ホスピタリティラウンジ(2日間有効)

ピットレーンに張り出した屋外観戦席も楽しめる。快適で迫りに満ちた観戦をご提供いたします。

ホスピタリティラウンジ ※アップグレード
21,100円

ファミリーラウンジ ※アップグレード (中学生以上)
21,100円

※ホスピタリティラウンジ アップグレード、ファミリーラウンジ アップグレードは、観戦券をお持ちの方を対象に、当日GPレセプションにて販売いたします。なお、観戦券をお持ちでない場合は、入場ゲートにて観戦券を購入いただき、GPレセプションにて上記アップグレードをご利用いただけます。

※パドックバスからのアップグレードも可能です。詳しくはGPレセプションにてご案内させていただきます。

※ファミリーラウンジはご家族でご観戦のお客様皆様の共有ラウンジです。ご家族単位でのお部屋ではございません。なお大人のお客様だけのご利用は出来ません。

★ご観戦エリア

・ホスピタリティラウンジ(ピットビル2階) ・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

★特典

- お食事ご利用金券(決勝日 5月15日(日)のみ)
 - ピットウォーク(2日間対象)
 - フリードリンク(ソフトドリンク・ビール)
 - 激感エリア入場可
 - 駐車券(専用駐車エリア)
 - V席入場可
 - 大会公式プログラム
 - バスクルージング
 - ホスピタリティテラス入場可(2日間対象)
 - レースリザルトサービス(ブース内設置)
 - パドック入場可(2日間対象)
 - ファミリーラウンジ専用、ファミリーバックヤードツアー(サーキットの裏側を覗いてみよう)
- 当日受付(定員になり次第受付終了いたします)



※特典の駐車券は駐車エリアにご入場いただく際、ホスピタリティラウンジパスとあわせてご提示が必要になります。

※ホスピタリティラウンジは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※室内へ飲食物のお持ち込みは出来ませんので予めご了承ください。

※屋外観戦席は各お部屋前が指定エリアとなります。ご自身のお部屋の前以外での屋外観戦は出来ません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

■ホスピタリティテラス(2日間有効)

ピットビル3階からご観戦いただけるホスピタリティテラスは、自然光を活かし、開放的な空間とするために壁を設置せずに、コースが見渡せる場所となります。2階席のホスピタリティラウンジ同様にテラス席をご用意しております。

ホスピタリティテラス (中学生以上)	ホスピタリティテラスJr. (3歳～小学生以下)
ゆうえんちモートピアパスポート1日付	入場のみ
17,900円	2,800円

★ご観戦エリア

・ホスピタリティテラス(ピットビル3階)

★特典

- レース観戦券込パス(ゆうえんちモートピアパスポート1日付)※Jrにはつきません
- パドック入場可(2日間対象)
- V席入場可
- ピットウォーク(2日間対象)
- Jr.パスはコチラレーシングパスケース付
- 激感エリア入場可
- レースリザルトサービス(ブース内設置)



※ホスピタリティテラスは数に限りがございます。完売の際はご了承ください。

※レース観戦券に付随のゆうえんちパスポートはレース開催日(土・日)のいずれか1日有効となります。

※お申し込み後のキャンセルは一切できません。

※貸切でのご利用やイベント利用等でご利用いただけないエリアがある場合がございますので、予めご了承ください。

～プライベートな空間でレース観戦～

■パノラマルーム ※別途観戦券が必要です

パノラマルームはグランドスタンド最上段のプライベート空間。冷暖房完備の個室で、周囲を気にせずゆったりとご観戦いただけます。サーキットビジョンを見ながらの観戦やコースを廻る観戦のベースキャンプにも、またお子様連れのご家族にもおすすめです。

当日販売パノラマルーム(1室料金) 4名様(プラスお子様2名様)まで利用可 25,000円

※当日、GPLレセプションにて販売いたします

★**ご観戦エリア** パノラマルーム(グランドスタンド最上段のプライベート空間)

★**設備内容** ●モニター×1台(26インチ液晶) ※レース映像のみ受像
 ●テーブル×1台 ・イス×6脚 ●冷暖房完備 ●居室面積9.9㎡(全室禁煙)

★**特典** ピットウォーク券付き



パノラマルーム

■ピットウォーク券

レーシングマシンをもっと間近でみたい！マシンやキャンペーンギャルを撮影したい！お昼のインターバルに実施するピットウォークにぜひご参加ください。小学生以下のお子様は無料でご参加いただけます。

	ピットウォーク券 別途観戦券必要	
	大人(中学生以上)	子ども
5月14日(土)予選日	2,000円	無料
5月15日(日)決勝日	2,000円	



※写真はイメージです

※ピットウォーク時に、脚立のお持込はご遠慮ください。

鈴鹿、もてぎのチケット・グッズが同時に買えるオンラインショップ
 詳しくは <http://mls.mobilityland.co.jp/> にアクセス！

MOBILITY STATION

チケットのお求めは

券種によってお取り扱いのない窓口もございます

■鈴鹿サーキットモビリティステーション

5月14日(土)まで(販売時間 10:00～17:00)

■MOBILITY STATION (オンラインショッピングサイト)

5月13日(金)16:00まで(24時間受付)

PC <http://mls.mobilityland.co.jp/>

モバイル <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/>

※観戦券、グループチケットのみで、現地引き渡し販売となります。

5月14日(土)まで販売(一部販売期間が異なる店舗がございます。)

●ローソンチケット ●電子チケットぴあ ●イープラス ●ツインリンクもてぎチケットセンター

●ローソン ●セブン-イレブン ●ファミリーマート ●サークルK・サンクス

※コンビニには時間帯に制約があります。※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。

チケットに関するお問い合わせ：鈴鹿サーキットモビリティステーション ☎059-378-1111(代)